

November 12, 2020

**【前日の為替概況】ドル円 小反発、米 NY 州はコロナ規制を再強化**

11 日のニューヨーク外国為替市場でドル円は小反発。終値は 105.43 円と前営業日 NY 終値 (105.30 円) と比べて 13 銭程度のドル高水準だった。新型コロナウイルスのワクチン開発を巡る楽観的な見方を背景に欧米株相場が底堅く推移すると、投資家のリスク志向が高まり円売り・ドル買いが優勢になった。ユーロやポンドに対してドル高が進んだ影響も受けて、一時 105.68 円と日通し高値を付けた。ただ、終値ベースでは一目均衡表雲の上限 105.53 円を維持することは出来なかった。新型コロナが再拡大する中、米 NY 州が飲食店の営業規制を再び強化すると発表すると、一時 105.39 円付近まで下押しする場面があった。なお、本日は米債券市場がベテランズデーで休場のため、商いは低調だった。

ユーロドルは反落。終値は 1.1777 ドルと前営業日 NY 終値 (1.1815 ドル) と比べて 0.0038 ドル程度のユーロ安水準だった。ラガルド欧州中央銀行 (ECB) 総裁が、12 月に予定する追加金融緩和では「新型コロナ向けのパンデミック緊急購入プログラム (PEPP) や、長期資金供給オペ (TLTRO) の拡大が焦点になる」との見方を示したことが相場の重しとなり、一時 1.1746 ドルと日通し安値を更新した。ただ、引けにかけては買い戻しが入り 1.1782 ドル付近まで下げ渋った。

ユーロ円は続落。終値は 124.17 円と前営業日 NY 終値 (124.41 円) と比べて 24 銭程度のユーロ安水準。ラガルド ECB 総裁が次回会合での追加緩和について具体的な手段にまで踏み込むと全般ユーロ売りが優勢となり、一時 123.92 円と日通し安値を付けた。ただ、引けにかけてはユーロドルと同様に下げ幅を縮めている。

トルコリラは大幅に上昇した。今週に入り、中銀総裁更迭や財務相交代を受けて買い戻しが先行していたが、本日のエルドアン大統領の新経済成長戦略発表を受けて買い戻しが加速した。エルドアン氏は「新たな成長戦略が物価や金融・財政面での安定性に基づく」と述べ、「枯渇した外貨準備と通貨への信頼を再構築する必要がある」と表明。中銀を支持する姿勢も示した。これを受けてドルリラは一時 7.7858 リラ、リラ円は 13.55 円までリラ高に振れた。

**【本日の東京為替見通し】**

本日のドル円も 105 円台でもみ合いになりそうだ。今週の値動きを見ていると、新型コロナウイルスによる株安＝ドル買い (株高＝ドル売り) の流れが弱まりつつある。昨日もドル相場というよりも、各通貨が各国の諸事情で動く相場に戻ったと言えそうだ。その中で円は金利面、政治面で無風状態ということで、現時点では他の通貨と比較しても動きが乏しくなるだろう。

相場を動意付ける材料としては、引き続き米国情勢になるか。米大統領選の接戦州での結果では、バイデン氏への票がより増加している状況にあるが、トランプ現大統領の徹底抗戦はこのまま継続されそうだ。国防 (ペンタゴン) 関係者の相次ぐ解雇や辞任で、米国内情勢が不安定なことには警戒したい。また、米国のウイルス感染第 2 波は深刻で、一部地区では病院が満床になっていると報告されている。昨日は NY 州が飲食店の営業規制を再び強化するとの報道もあり、ここ最近の株価の上昇に水が差される可能性もありそうだ。

ドル円以外では、本日も欧州通貨やオセアニア通貨はボラタイルに動きそうだ。昨日、ラガルド欧州中央銀行 (ECB) 総裁が追加緩和の可能性を示唆したことでユーロが弱含んだ。本日はデギンドス ECB 副総裁の講演が予定されていることで、副総裁の発言に注目が集まる。

なお英国と欧州連合 (EU) の通商交渉が 11 月中旬の期限に間に合わないと伝わった。ただしトランプ政権という支えを失ったジョンソン英首相が、交渉合意へ妥協することや、交渉期間の延長なども視野に入れる可能性があることで、引き続きポンドの値動きに警戒したい。英国からは 7-9 月期国内総生産 (GDP) 速報値などの複数経済指標や、ベイリー英中銀 (BOE) 総裁の講演などが予定されている。7-9 月期以後に感染第 2 波による新たなロックダウンを行っていることで今回の指標での反応は難しいが、市場はある程度反応する可能性もあるため、注意を怠らないようにしておきたい。

また昨日対ドルでは 2019 年 3 月以来の水準まで上昇した NZ ドルなどの、オセアニア通貨の動きにも注目が集まっている。先月の総選挙でアードーン NZ 首相の率いる労働党が地滑り的な勝利をおさめたことで政権が安定してること、ウイルスを完ぺきに抑えていることなどで、NZ ドルは引き続き底堅い値動きになるか。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ◇ 10月企業物価指数（予想：前月比▲0.2%／前年比▲2.1%）
- 08:50 ◎ 9月機械受注（予想：船舶・電力除く民需 前月比▲0.7%／前年比▲11.6%）
- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 10:30 ◇ 安達誠司日銀審議委員、あいさつ
- 13:30 ◇ 9月第三次産業活動指数（予想：前月比 1.2%）

## &lt;海外&gt;

- 09:01 ◇ 10月英王立公認不動産鑑定士協会（RICS）住宅価格（予想：55）
- 16:00 ☆ 9月英国国内総生産（GDP、予想：前月比 1.5%）
- 16:00 ☆ 7-9月期英国国内総生産（GDP）速報値（予想：前期比 15.8%／前年比▲9.4%）
- 16:00 ◎ 9月英鉱工業生産指数（予想：前月比 1.0%／前年比▲6.0%）
  - ◎ 製造業生産高（予想：前月比 1.0%）
- 16:00 ◇ 9月英商品貿易収支／英貿易収支（予想：95.00億ポンドの赤字／8.50億ポンドの黒字）
- 16:00 ◎ 10月独消費者物価指数（CPI）改定値（予想：前月比 0.1%／前年比▲0.2%）
- 17:00 ◎ ベイリー英中銀（BOE）総裁、講演
- 17:30 ◎ 10月スウェーデンCPI（予想：前月比▲0.1%／前年比 0.4%）
  - コア指数（予想：前月比▲0.1%／前年比 0.3%）
- 18:50 ◎ デギンドス欧州中央銀行（ECB）副総裁、講演
- 19:00 ◎ 9月ユーロ圏鉱工業生産（予想：前月比 0.7%／前年比▲5.8%）
- 21:00 ◎ 9月インド鉱工業生産（予想：前年同月比▲2.0%）
- 22:30 ☆ 10月米CPI（予想：前月比 0.1%／前年比 1.3%）
  - ☆ エネルギーと食品を除くコア指数（予想：前月比 0.2%／前年比 1.7%）
- 22:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：73.5万件／690.0万人）
- 13日 01:00 ☆ 7-9月期ロシアGDP速報値（予想：前年比▲4.0%）
- 13日 01:00 ◇ EIA 週間在庫統計
- 13日 01:00 ◎ カンリフ BOE 副総裁、講演
- 13日 01:45 ☆ ラガルド ECB 総裁、ベイリー BOE 総裁、パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長、講演
- 13日 03:00 ◎ 米財務省、30年債入札
- 13日 03:00 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演
- 13日 04:00 ◎ 10月米月次財政収支（予想：2750億ドルの赤字）
- 13日 04:00 ◎ メキシコ中銀、政策金利発表（予想：4.00%に引き下げ）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

11日 10:04 ニュージーランド準備銀行(RBNZ)声明  
 「量的緩和の規模を1000億NZドルで据え置き」  
 「必要とあれば政策金利を引き下げる」  
 「消費者物価指数はターゲットレンジの下限のまま」  
 「新型コロナウイルスの衝撃は依然大きい」  
 「12月に銀行向けの融資プログラムの資金供給を開始」  
 「マイナス金利を展開する銀行の能力について進展があった」  
 「失業率は継続的に増加すると予想」  
 「金融政策は長期にわたって刺激的であり続ける必要」

11日 11:13 オア RBNZ 総裁  
 「国内外の経済活動は以前の想定よりも回復力がある」  
 「インフレと雇用は長期間目標を下回っている」  
 「銀行向けの融資プログラム(FLP)のレビュー後にマイナス金利を導入するかを判断するのは時期尚早」

11日 18:37 テンレイロ英中銀金融政策委員会(MPC)委員  
 「低金利の世界が長く続くことになる」  
 「欧州はマイナス金利政策の肯定的な証拠を反映」

11日 19:52 クノット・オランダ中銀総裁  
 「新型コロナワクチン開発のニュースは良い」  
 「新型コロナワクチンによる経済への影響には時間がかかる可能性」  
 「2021年の経済見通しは浮き沈みが多いだろう」  
 「ECBは12月の決定でいかなる政策も排除しない」

11日 20:29 エルドアン・トルコ大統領  
 「トルコはインフレを一桁まで低下させることを決意」  
 「中銀の政策を十分にサポートする」  
 「中銀の責務は物価安定」

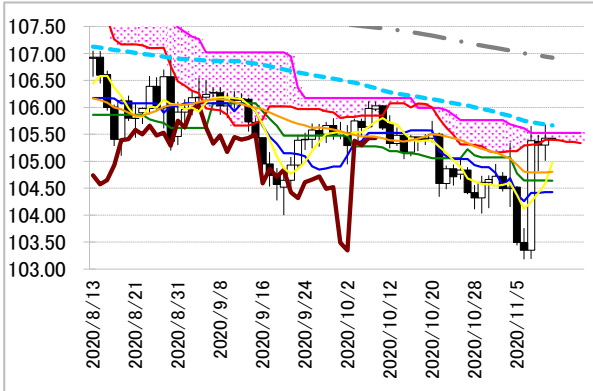
11日 20:33 コベニー・アイルランド外相  
 「ブレグジット合意は可能だが、困難」  
 「ブレグジット協議は期待をもって最終段階に入っている」

11日 22:10 ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁  
 「パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)や条件付き長期リファイナンスオペ(TLTRO)はECBの主要手段であり続ける」  
 「ECBの景気刺激策は規模と期間が重要」  
 「為替レートの変動は、インフレの進行に悪影響を及ぼす可能性」  
 「パンデミックからの経済的回復は、かなり不安定になる可能性」

11日 22:45 メルケル独首相  
 「新型コロナウイルスの感染第2波は第1波より影響が大きい可能性」  
 ※時間は日本時間



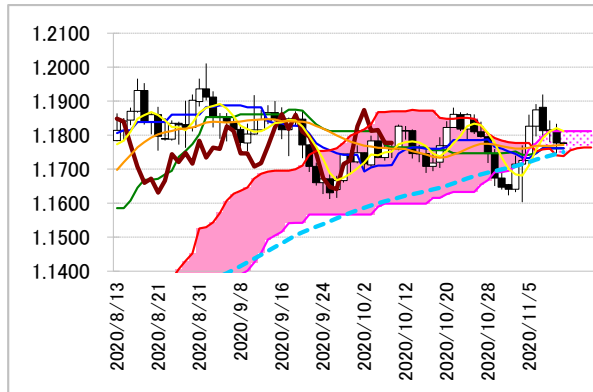
## 〔日足一目均衡表分析〕



### <ドル円=日足一目・雲を睨んだ展開が続く>

陽線引け。105 円手前から反発し、9 日高値を一時上回った。105 円半ばの薄い日足一目均衡表・雲を睨み、その上の90 日移動平均線を意識した展開が続いている。本日も一目・雲を中心とした値動きとなりそうだ。下値は10 日の下ヒゲを頼りに104 円後半で底固めしつつあるようにもみえ、本日は10・11 日安値を支持帯に押し目買いスタンスで臨みたい。

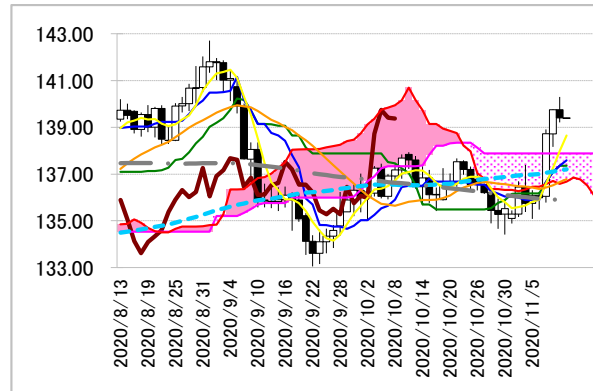
レジスタンス 1	105.68(11/11 高値)
前日終値	105.43
サポート 1	104.82(11/10 安値)
サポート 2	104.43(日足一目均衡表・転換線)



### <ユーロドル=一目・雲を下回ると下落に勢いがつか>

陰線引け。日足一目均衡表・雲の中で弱含み、目先の支持と見られていた一目・基準線や転換線を一時下回った。もっとも、雲の下限の手前で下げ渋り、引けにかけて下げ幅を縮小している。本日は一目・雲の中で方向性を探る展開となるか。ただし上値を切り下げてきており、昨日は下げ止まった雲の下限をクリアに抜けていくようであれば、下落に勢いがつかかもしれない。雲の下抜けで売り参入し、その場合は1.1762 ドルで同値の基準線・転換線を上回れば手仕舞い。

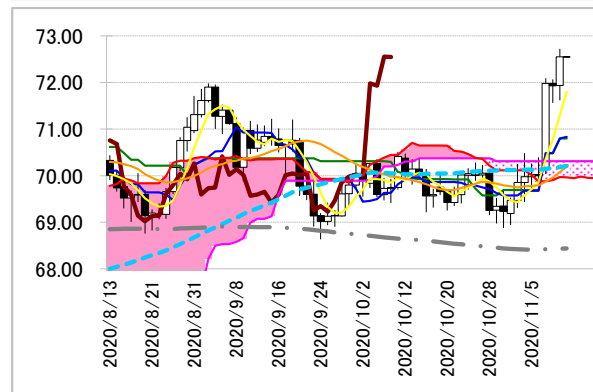
レジスタンス 1	1.1812(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1777
サポート 1	1.1738(日足一目均衡表・雲の下限)



### <ポンド円=11 日高値を抵抗に売りスタンス>

陰線引け。今週に入って強まった地合いを引き継ぎ、一時約2 カ月ぶりとなる140 円前半まで強含んだ。ただ上昇が一巡すると一転し売り優勢となり、139 円手前まで下押ししている。一目・遅行スパンが実線を上回り、雲の上で引けていることに加え、転換線が基準線を上回ったことで三役好転の強い買いシグナルが点灯した。もっとも、昨日の高値更新後の陰線引けで、本日は調整売りが続いてもおかしくはなく、本日は11 日高値を抵抗に売り姿勢で臨みたい。

レジスタンス 1	140.30(11/11 高値)
前日終値	139.41
サポート 1	137.88(日足一目均衡表・雲の上限)



### <NZドル円=三役好転が点灯、11 日安値が支持に>

陽線引け。72 円台に乗せて上昇に勢いが増し、1 月 21 日以来の高値を更新した。日足一目均衡表・遅行スパンは実線を、引け水準は一目・雲をそれぞれ大きく上回り、加えて転換線が基準線を上回り始めたことで、強い買いシグナルとされる三役好転が点灯した。先週末から3 円近く上昇しており、若干の調整はあるだろうが、昨日安値を支持に買いスタンスで臨みたい。

レジスタンス 1	73.35(1/16 高値)
前日終値	72.55
サポート 1	71.62(11/11 安値)

